

# 2025年度（2026年3月期） 第2四半期決算説明資料

---

2025年11月11日

**H.U.グループホールディングス株式会社**  
(証券コード: 4544)

- 
- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
  - ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期、中間）純利益/純損失」を「当期（四半期、中間）純利益/純損失」と省略する場合があります。
  - ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
  - ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In-Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2024年度上期 : 1USD = 152.64 JPY 1EURO = 165.95 JPY

2025年度上期 : 1USD = 146.05 JPY 1EURO = 168.07 JPY

# Executive Summary

## 連結

- ・ 営業利益は約23.3億円。2Qの進捗は弱いものの想定の範囲内
  - ・ YoY : + 13.7億円、QoQ : + 5.9億円
- ・ M&A関連費用（4.7億）の影響を除いた実質的な営業利益は約28億円

## LTS

- ・ 遺伝子関連検査および特殊検査が堅調に成長
- ・ サービスレベル・販売価格の適正化を含めた限界利益の増加等により、H.U. Bioness Complex関連のコスト増（減価償却費等）を吸収し、増益を達成
- ・ 2Qの営業利益はほぼブレークイーブンで計画通り

## IVD

- ・ NEURO売上は引き続き高成長（上期約41億円、YoY 2.2倍）
- ・ CDMO売上は中国市場の影響はあるものの堅調に推移（為替影響を除きYoY+5%）

## HS

- ・ 滅菌・手術関連事業が堅調に推移し、增收増益
- ・ 9/16：ケアレックス社株式の譲渡契約を締結（12/1のクロージングを予定）

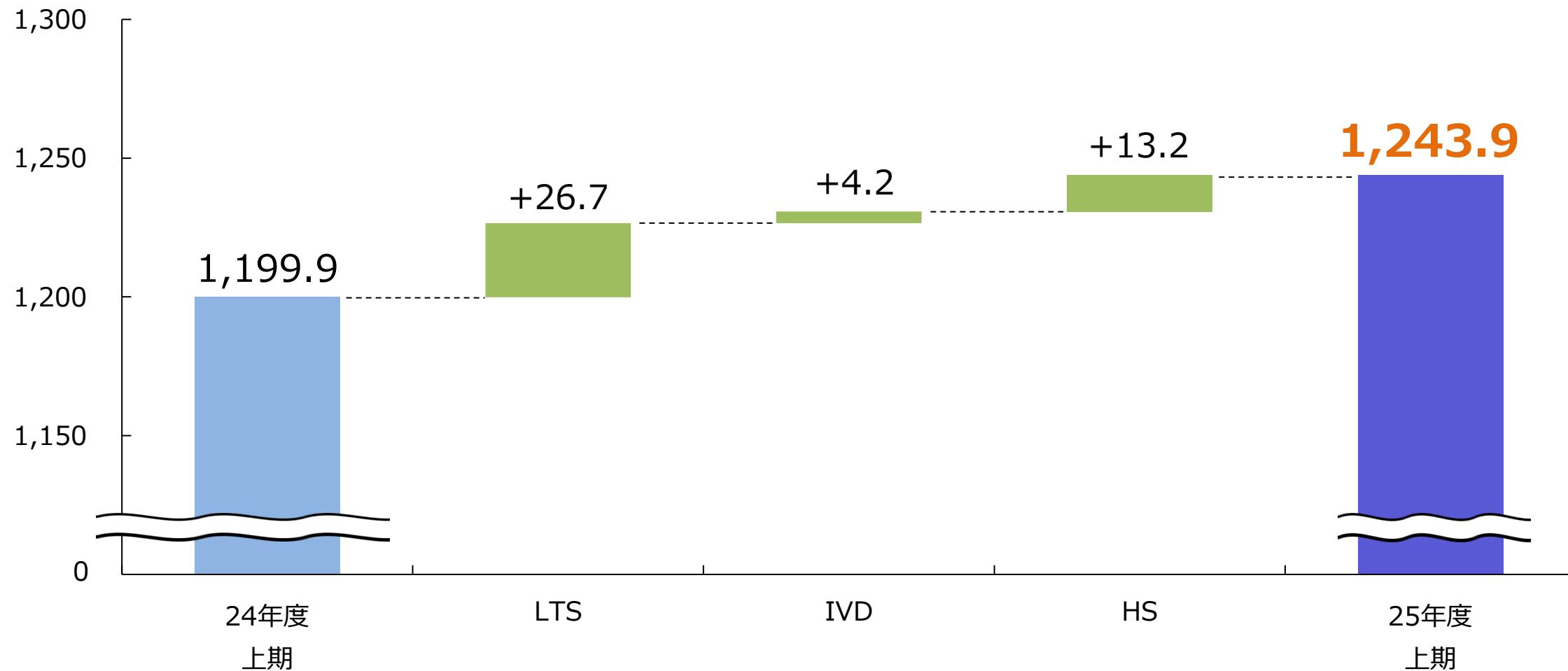
# 連結業績（対前年同期比）

(億円)

	24年度 上期 実績	24年度 上期 利益率	25年度 上期 実績	25年度 上期 利益率	対前年同期比 増減
<b>売上高</b>	<b>1,199.9</b>		<b>1,243.9</b>		<b>+44.1</b> <b>+3.7%</b>
LTS	765.2		791.9		+26.7 +3.5%
IVD	290.2		294.4		+4.2 +1.4%
HS	144.5		157.7		+13.2 +9.1%
<b>EBITDA</b>	<b>111.3</b> <b>9.3%</b>		<b>134.2</b> <b>10.8%</b>		<b>+22.9</b> <b>+20.6%</b>
LTS	31.4	4.1%	60.1	7.6%	+28.8 +91.7%
IVD	81.3	28.0%	75.7	25.7%	-5.6 -6.9%
HS	16.9	11.7%	19.7	12.5%	+2.8 +16.6%
全社	-18.2		-21.3		-3.1 -
<b>営業利益/損失</b>	<b>9.6</b> <b>0.8%</b>		<b>23.3</b> <b>1.9%</b>		<b>+13.7</b> <b>+143.2%</b>
LTS	-28.9	-3.8%	-9.3	-1.2%	+19.6 -
IVD	54.8	18.9%	48.3	16.4%	-6.6 -12.0%
HS	8.8	6.1%	11.6	7.4%	+2.9 +32.4%
全社	-25.1		-27.3		-2.2 -
<b>経常利益/損失</b>	<b>-12.6</b> <b>-1.0%</b>		<b>3.1</b> <b>0.2%</b>		<b>+15.6</b> -
<b>中間純利益/純損失</b>	<b>-8.2</b> <b>-0.7%</b>		<b>2.1</b> <b>0.2%</b>		<b>+10.3</b> -

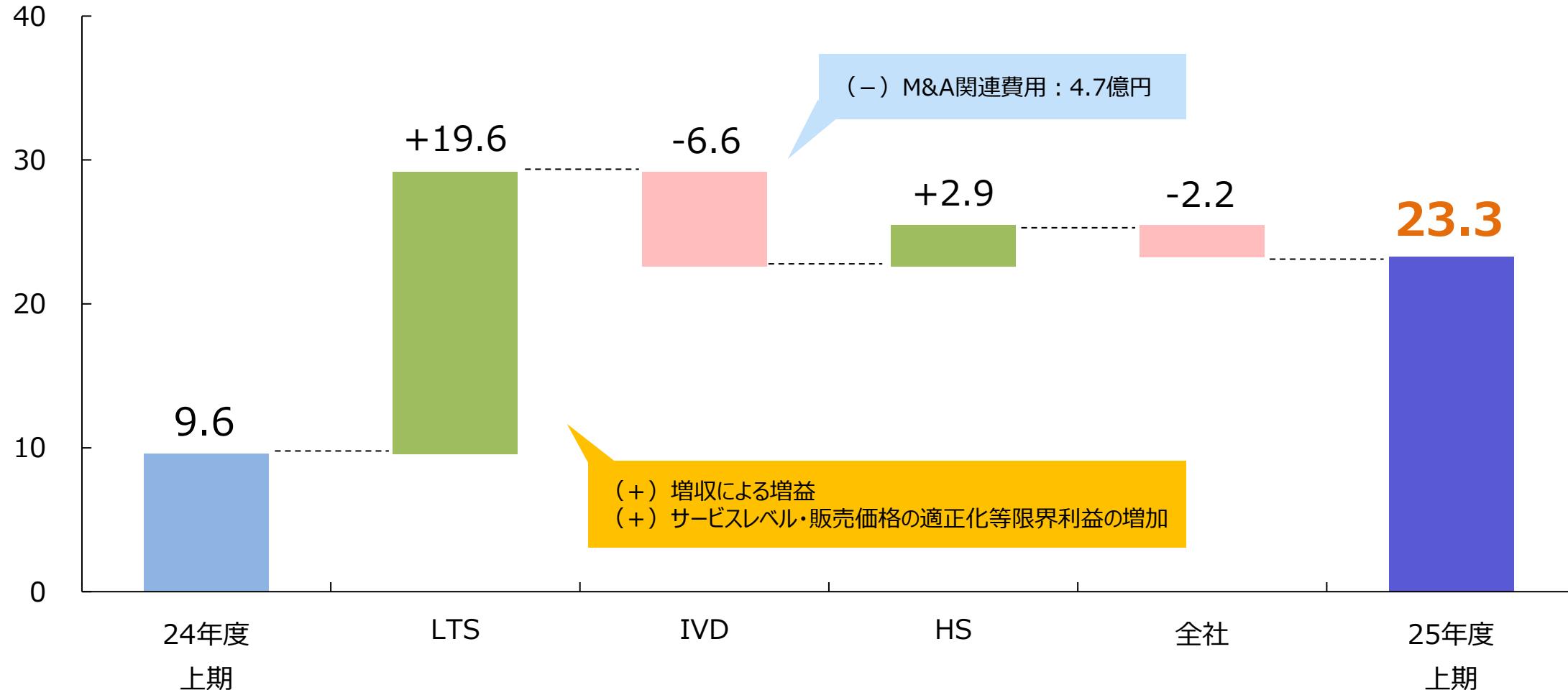
# 25年度上期連結売上高（対前年同期比）

(億円)

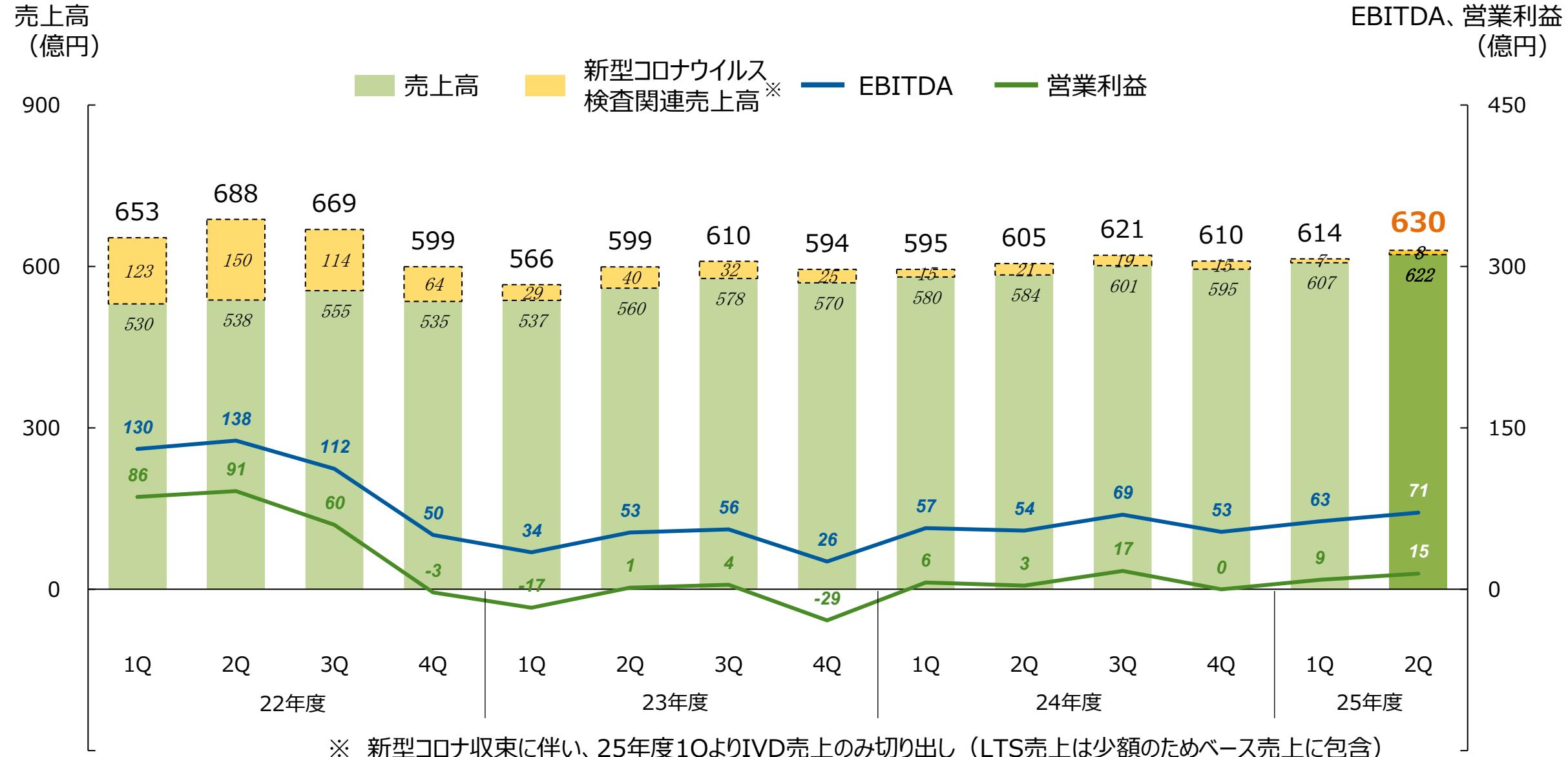


# 25年度上期連結営業利益（対前年同期比）

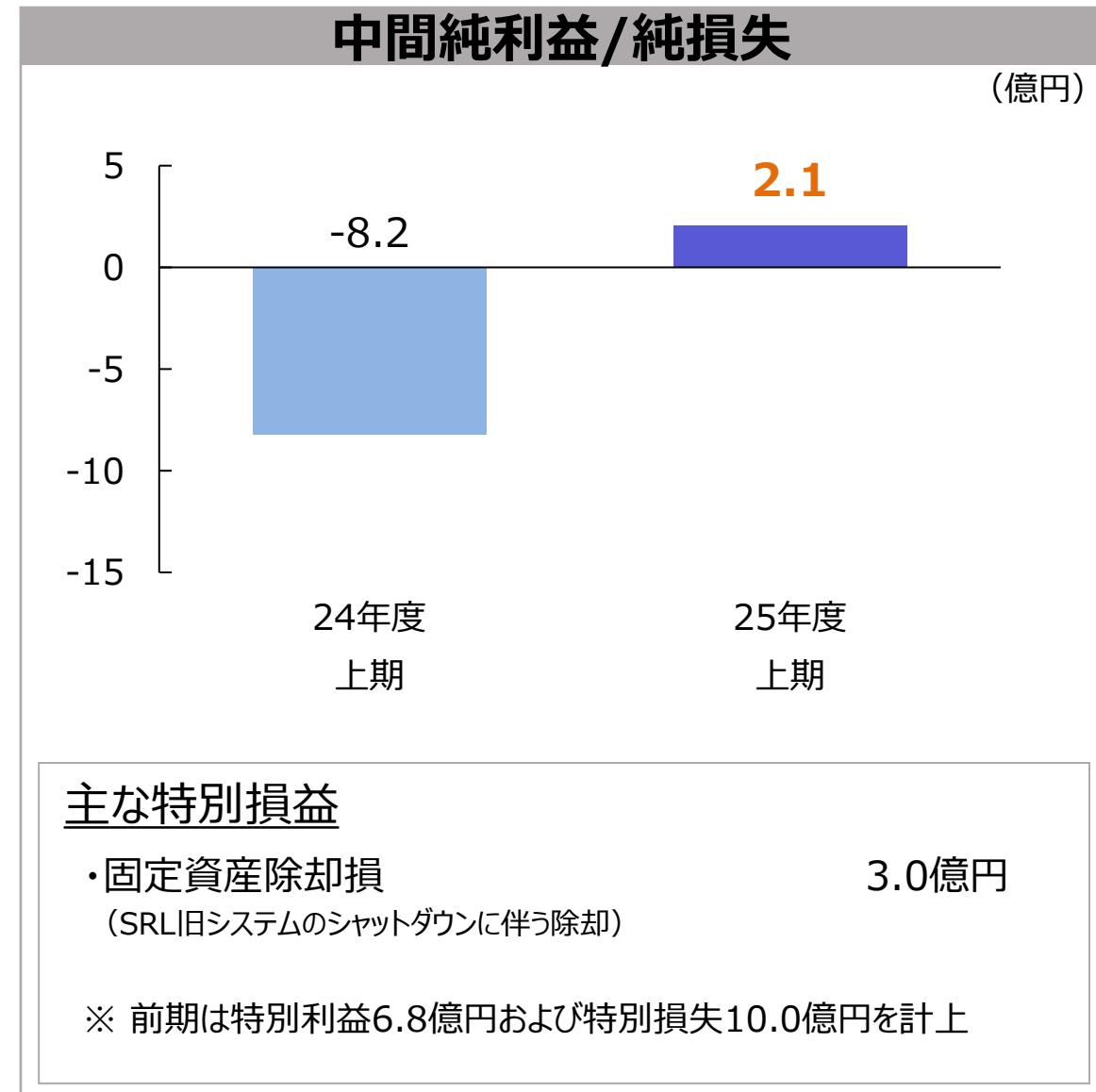
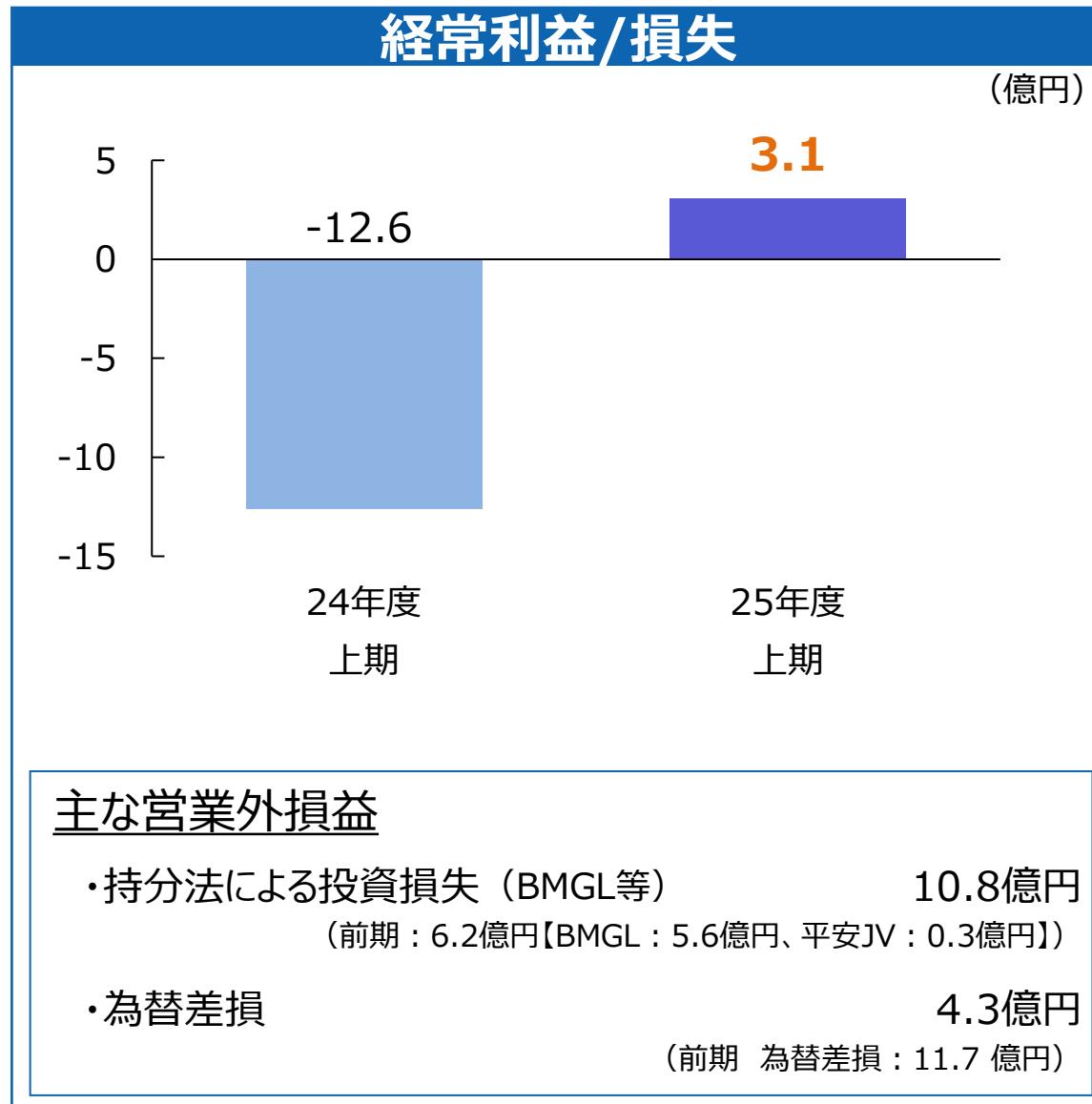
(億円)



# 四半期毎の業績推移



# 連結経常利益/損失および中間純利益/純損失（対前年同期比）



売上高  
(億円)

500

250

0

## 四半期推移

EBITDA  
営業利益  
(億円)

200

100

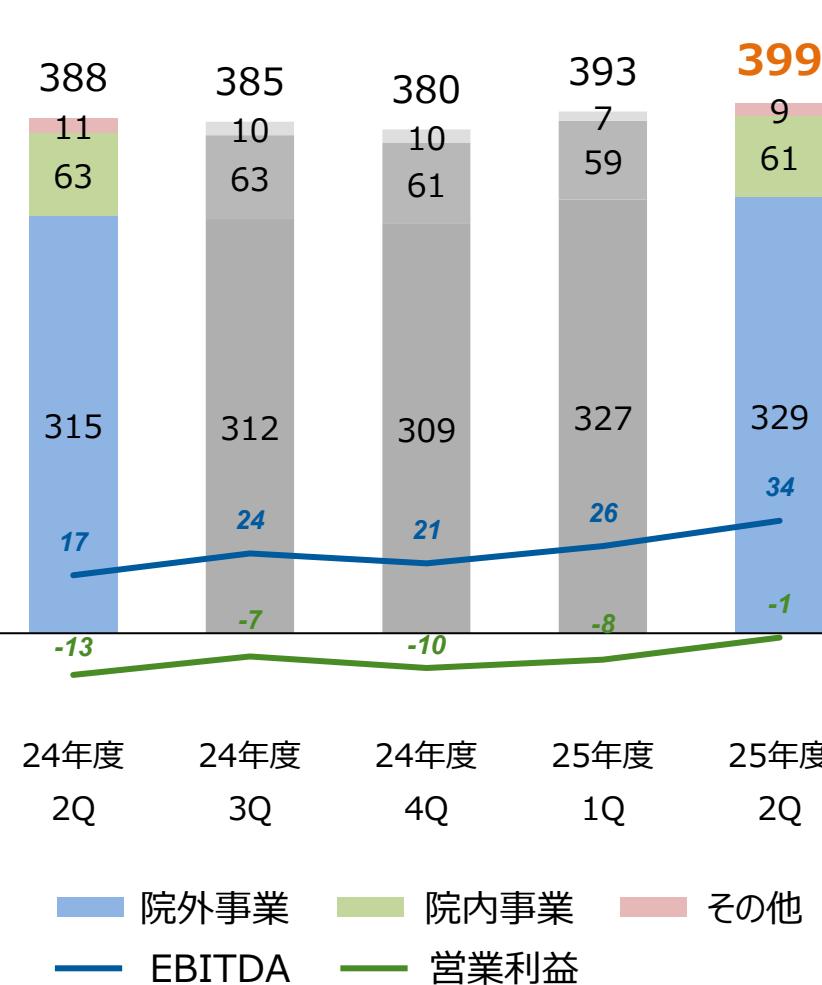
0

-100

## 対前年同期比

(億円)

	24年度 上期	25年度 上期	対前年同期比 増減
売上高	765.2	791.9	+26.7 +3.5%
院外事業	623.6	655.7	+32.1 +5.1%
院内事業	123.5	120.3	-3.2 -2.6%
その他	18.1	15.9	-2.2 -12.0%
EBITDA 利益率	31.4 4.1%	60.1 7.6%	+28.8 +91.7%
営業利益 利益率	-28.9 -3.8%	-9.3 -1.2%	+19.6 -



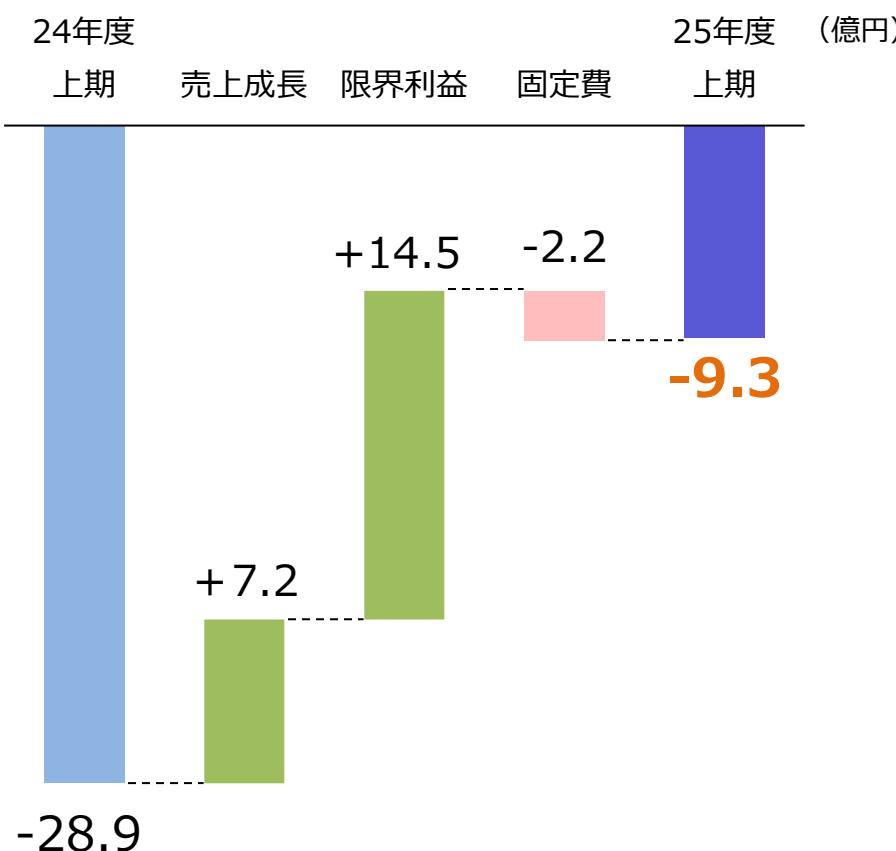
### 売上高

- 遺伝子関連検査 (+7%)、特殊検査 (+6%) の伸長

### 営業利益

- 増収による増益
- サービスレベル・販売価格の適正化等、限界利益の増加
- 増加したH.U. Bioness Complex関連費用を固定費削減等でオフセット

# LTS : 増益要因の分解（対前年同期比）



売上成長による増益

## 順調な進捗

- ・特殊検査を中心とした成長  
(下期に向けてはさらなる成長を見込む)

限界利益增加

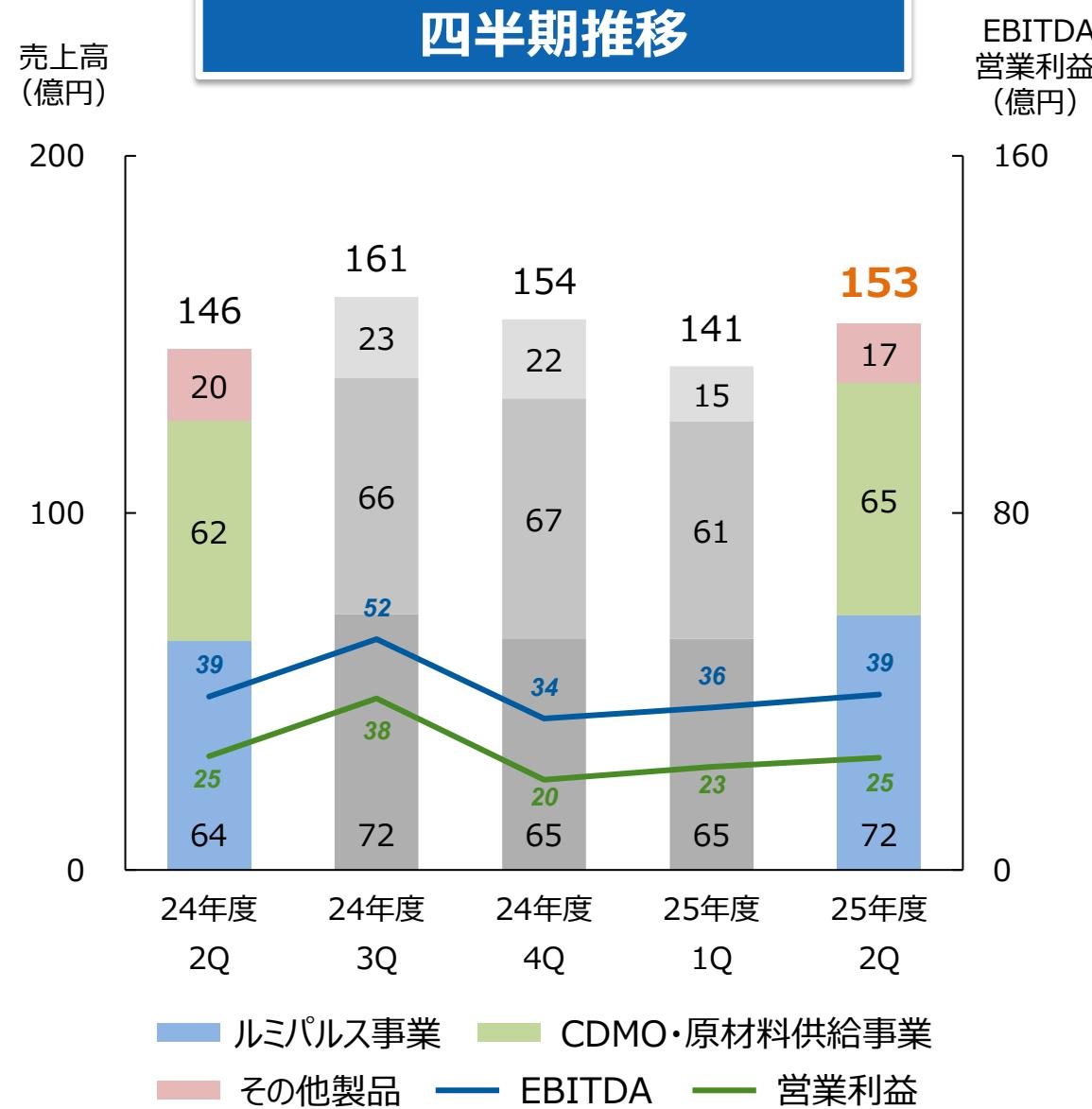
## 順調な進捗

- ・サービスレベル・販売価格の適正化の効果発現
- ・試薬・消耗品等仕入れ価格の上昇を一部抑制
- ・完全稼働したH.U. Bioness Complexを中心とした継続的な検査オペレーションの改善

固定費削減

## やや進捗に遅れ

- ・H.U. Bioness Complex関連コスト（減価償却費、ランニングコスト）の増加を人件費・業務委託費の削減で一部相殺



EBITDA  
営業利益  
(億円)

## 対前年同期比

	24年度 上期	25年度 上期	対前年同期比 増減	(億円)
売上高	290.2	294.4	+4.2	+1.4%
ルミパルス	123.9	136.4	+12.4	+10.0%
国内	97.4	89.3	-8.0	-8.2%
海外	26.6	47.1	+20.5	+77.0%
CDMO・原材料	124.8	126.0	+1.2	+0.9%
その他	41.4	32.0	-9.4	-22.8%
EBITDA 利益率	81.3 <b>28.0%</b>	75.7 <b>25.7%</b>	-5.6	-6.9%
営業利益 利益率	54.8 <b>18.9%</b>	48.3 <b>16.4%</b>	-6.6	-12.0%
ルミパルス 内販売上高	18.8	16.9	-1.9	-10.0%

### 売上高 \*為替影響を除く

- ベース事業はNEUROおよびCDMOを中心に成長
  - NEURO(海外ルミパルス)：約41億円 (YoY 2.2倍)
  - CDMO事業は堅調に成長 (YoY\*+5%)
- 新型コロナウイルス関連：約15億円 (前年同期：約29億円)

### 営業利益

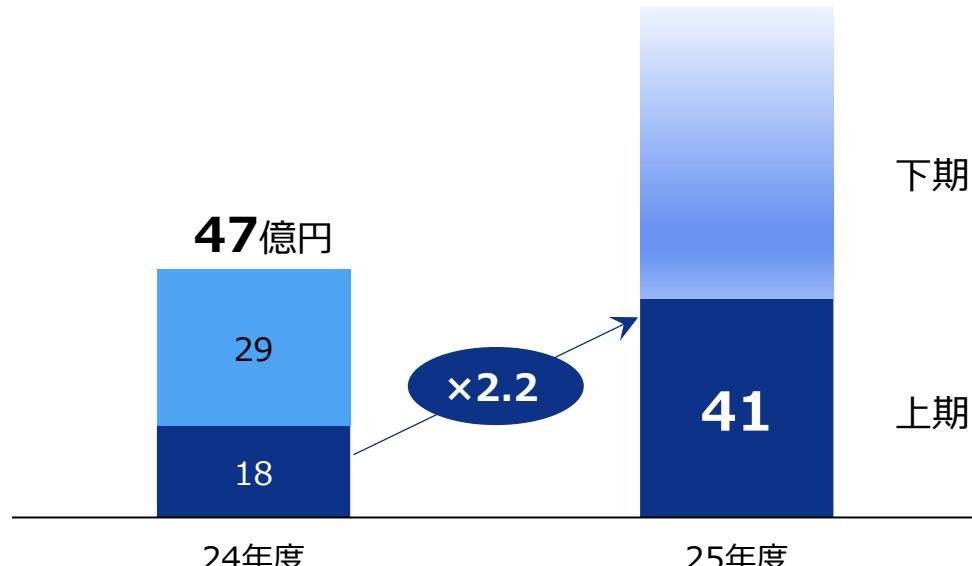
- M&A関連費用 (4.7億円)
  - 製品ミックス変化により営業利益率が低下
- 為替影響 (売上高：-6.2億円、営業利益：-1.0億円)

# IVD : NEURO

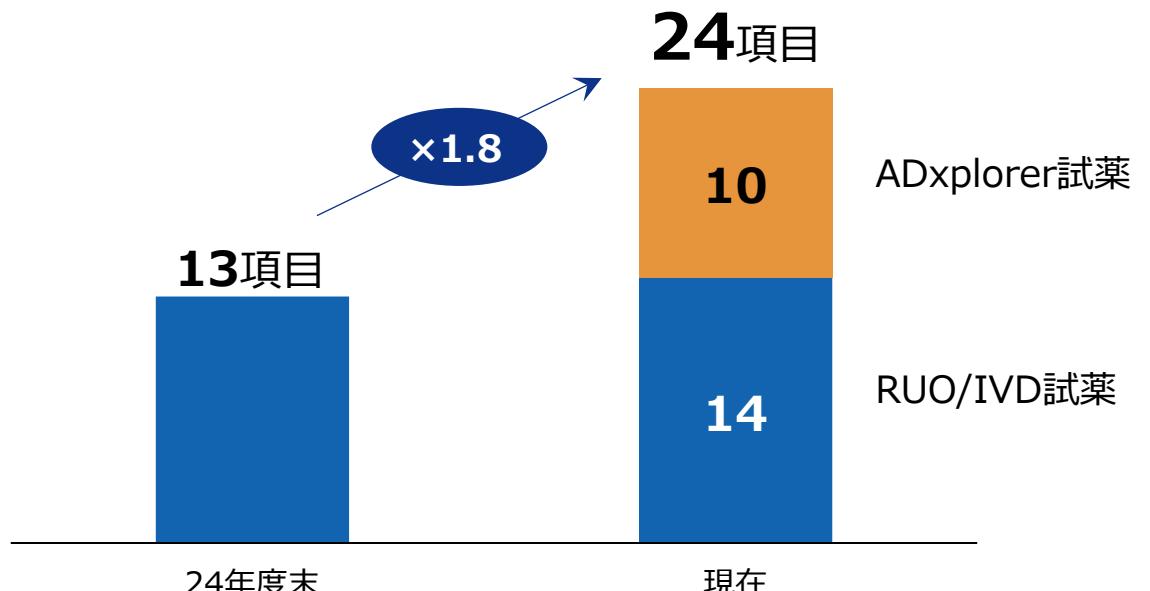
## Plasma用試薬の伸長が継続し、NEURO試薬全体の売上高は引き続き堅調に推移

- ✓ Plasma pTau217およびβ-アミロイド1-42試薬が成長をけん引。米国大手検査センター2社にて採用済み
- ✓ 日本・欧州への年内申請を準備中。インド・中国以外にも、南米・中東・アジアへの市場展開を準備中
- ✓ SRLにて、研究用試薬として検査受託を開始（8/25～）
- ✓ AD領域以外のNEURO関連ルミパルス試薬の開発も継続的に実施。2022年度に買収したADx NeuroSciences社（ベルギー）にて開発・製品化しているプロトタイプ試薬群（ADxplorer試薬）も含めパイプラインを強化

ルミパルス NEURO 試薬売上高  
(CSF/Plasma合計)



ルミパルス NEURO 試薬項目数  
(CSF/Plasma合計)



売上高  
(億円)

100

50

0

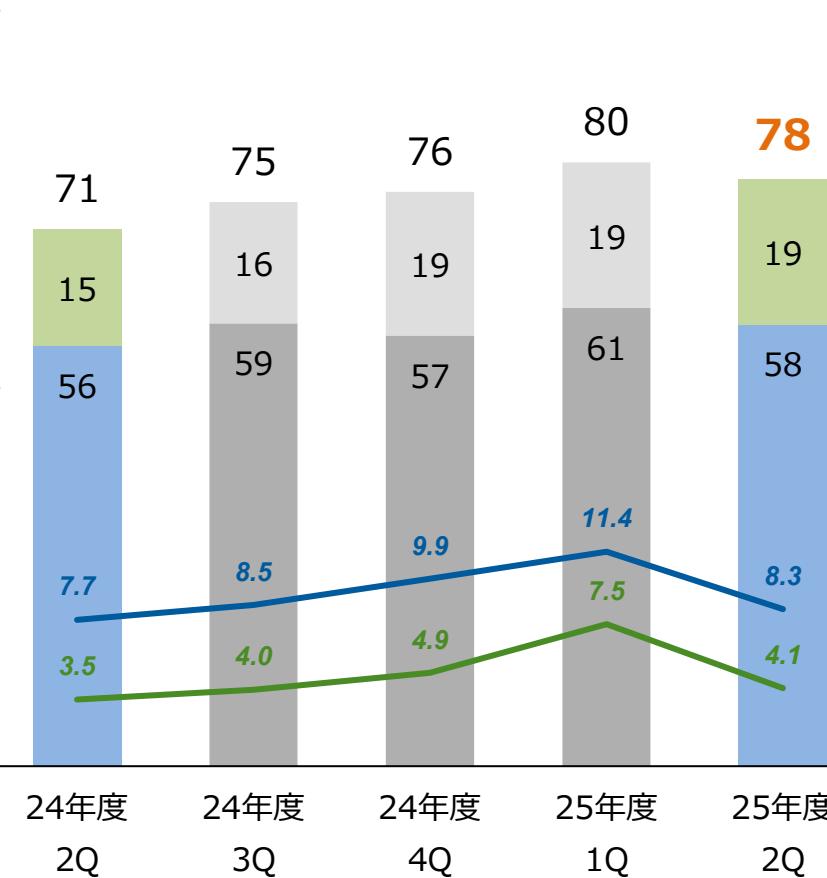
## 四半期推移

EBITDA  
営業利益  
(億円)

40

20

0



■ 滅菌・手術関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業  
— EBITDA — 営業利益

## 対前年同期比

(億円)

	24年度 上期	25年度 上期	対前年同期比 増減
売上高	144.5	157.7	+13.2 +9.1%
滅菌・手術関連	113.4	119.1	+5.8 +5.1%
在宅・福祉用具	31.1	38.5	+7.4 +23.9%
EBITDA 利益率	16.9 <b>11.7%</b>	19.7 <b>12.5%</b>	+2.8 +16.6%
営業利益 利益率	8.8 <b>6.1%</b>	11.6 <b>7.4%</b>	+2.9 +32.4%

### 売上高

- 滅菌・手術関連事業：堅調に推移
- 在宅事業：2024年12月から連結子会社化したガイアメディケアの売上寄与

### 営業利益

- 滅菌・手術関連事業の增收および価格の適正化による増益

# HS : ケアレックス社の株式譲渡について

- ・中計H.U. 2030の重点施策“キャピタルアロケーション最適化と資本効率向上”に沿って、福祉用具レンタル卸事業を営むケアレックス社株式の譲渡を決定  
(ケアレックス社がさらなる成長を実現するためにはワキタ社に譲渡することが最適と判断)
- ・今後、HS事業は滅菌・手術関連事業および在宅事業へフォーカスする

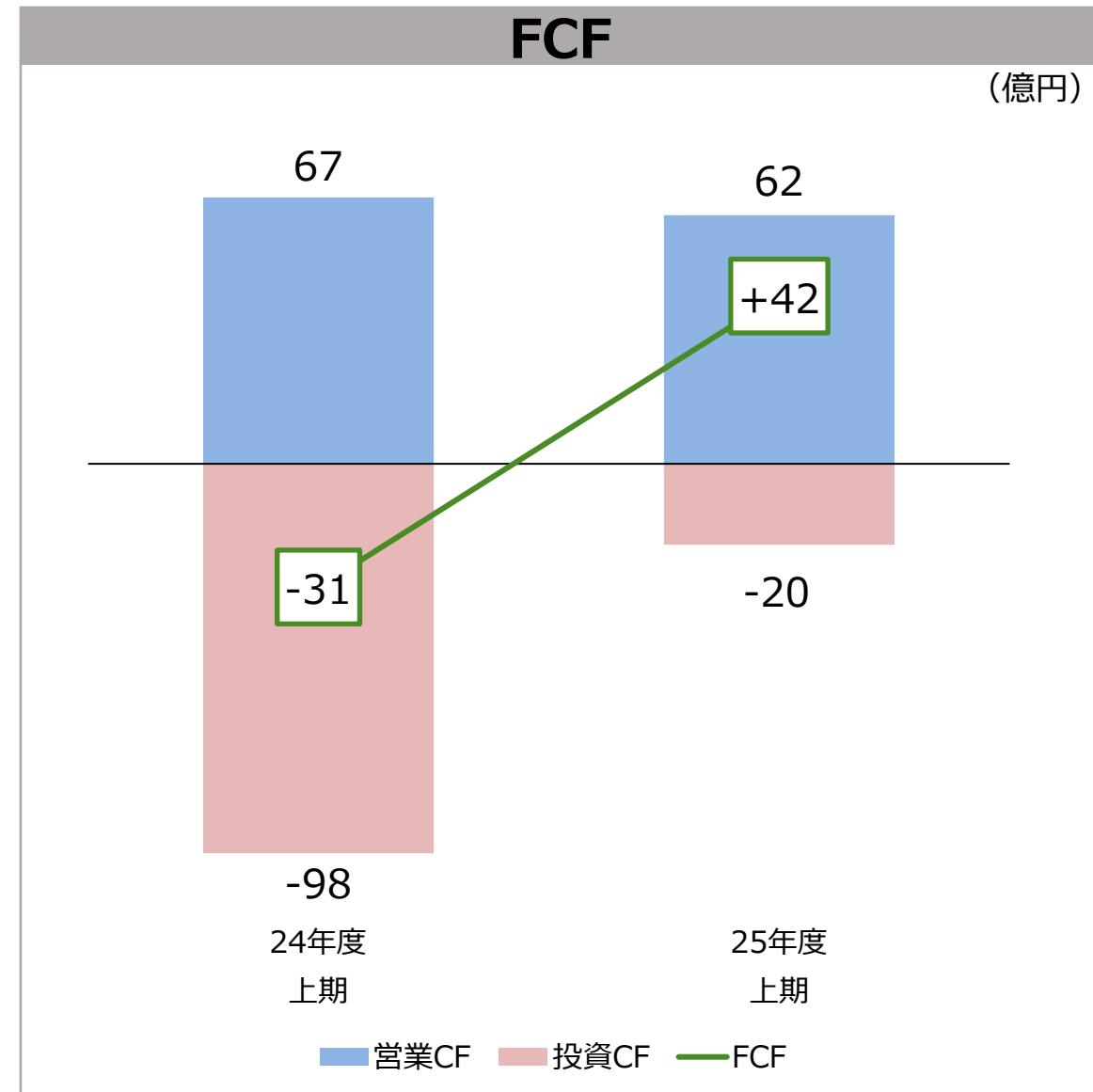
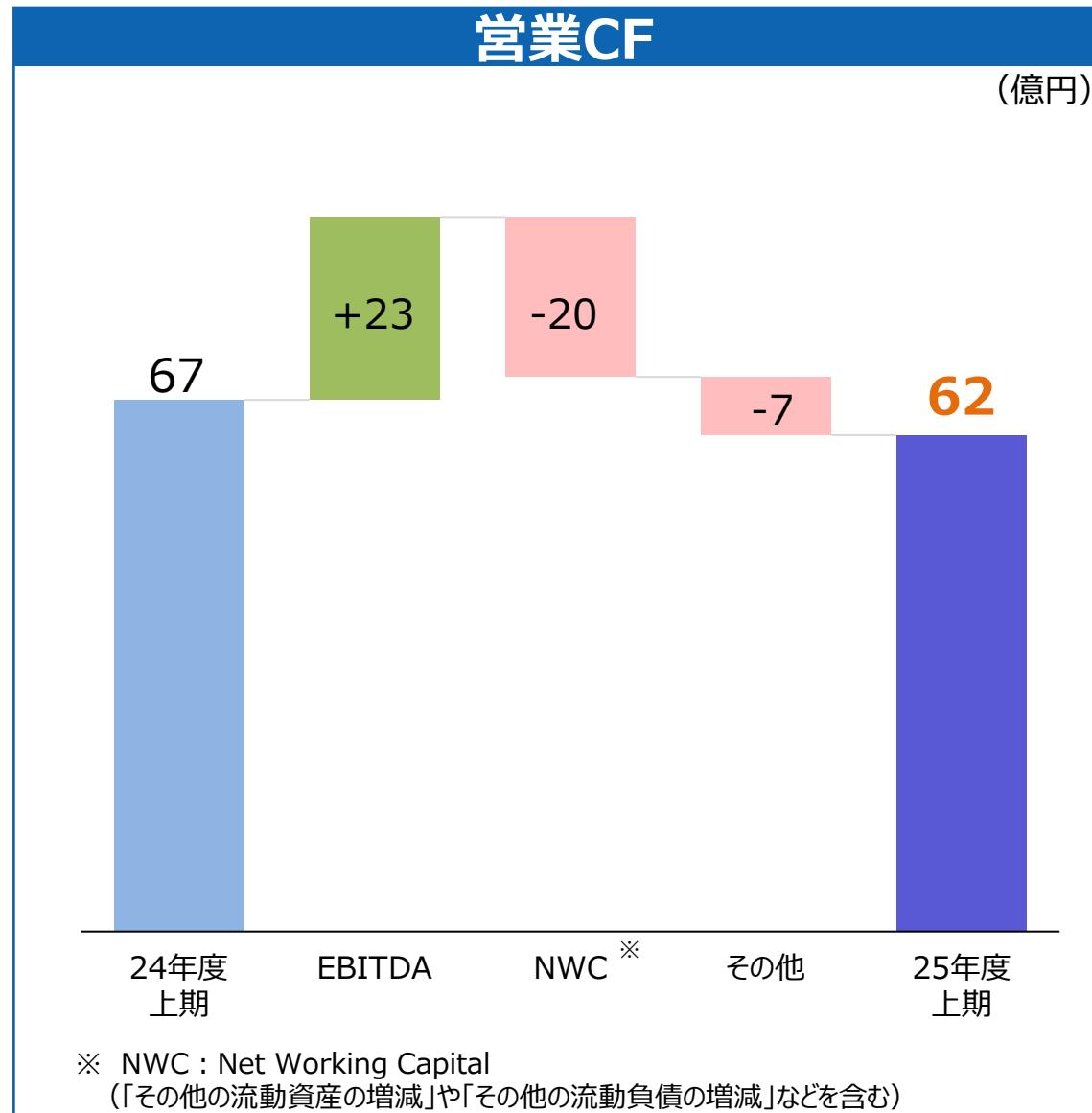
## スケジュール

9/16 : ケアレックス社の80%の株式譲渡契約を締結

12/1 (予定) : クロージング  
(株式譲渡の実行、同日付でケアレックス社は持分法適用会社へ)

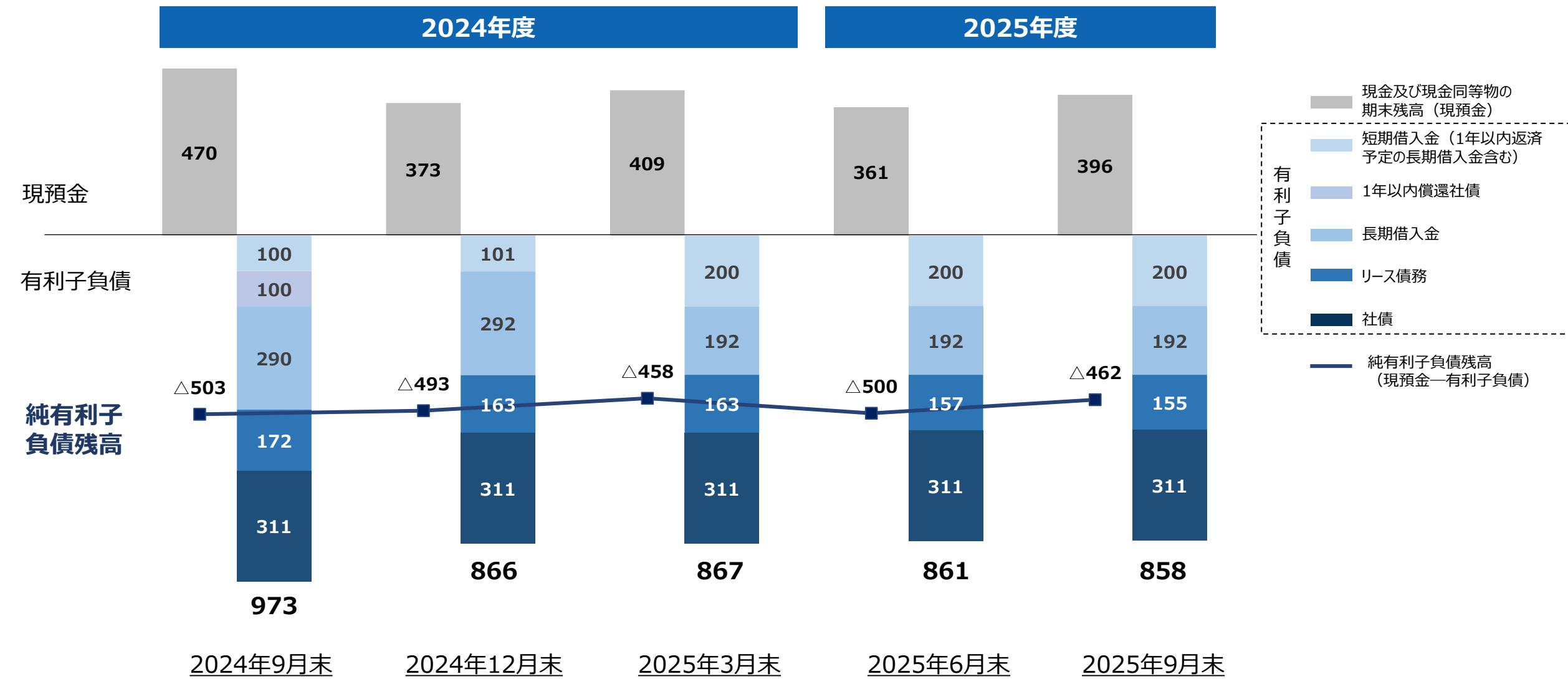
1年半～2年後を目途 : 全株式の譲渡

# 2025年度上期連結キャッシュ・フロー（対前年同期比）



# 現預金・有利子負債残高

(億円)



## 【連絡先】

**H.U.グループホールディングス株式会社**  
**IR/SR部 ir@hugp.com**

### 将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知ください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。